

いちご農家

こまつ たかし
小松 孝次さん

いちえ いちご一笑 こころを込めて

経営内容・品目

- 栽培規模
約46a
- 栽培品目
いちご、大玉トマト、
ミニトマト、タマネギ
- 出荷先
JA、JA直売所、
地元直売所、道の駅

就農に当たって考えたこと

父親が農業を営んでいましたが、私自身は農業をやるつもりはありませんでした。しかし、父が高齢になり、農業をやめようか迷っていた時に、父が今まで守ってきた農作物や土地を手放してしまうのはもったいないと思い、一部を引き継ぐ形で就農しました。

就農までの経緯

農地やハウス、農機具等は父から引き継ぎました。

また「農業次世代人材投資資金（経営開始型）」を活用して徐々に設備してきました。しかし、就農前に農業研修を受けなかったため、知識や技術不足で就農後に大変苦労しました。



就農して良かったこと

一生懸命育てた農作物をお客さんに「お兄ちゃんのいちごたべたよ！」「おいしかった！」と言われた時は、我が子が褒められた感じがして嬉しいです。

会社員時代は時間に縛られて家族との時間が少なかったのですが、農家になり自分でスケジュール管理ができるので家族との時間が増えました。また、自然豊かな土地できれいな景色に囲まれながら仕事ができるのも農業の魅力だと思います。



就農して大変だったこと

作物が実らない時はとてもショックでした。農業は知識や技術が必要な上、自然を相手にするので、環境の変化に柔軟に対応していく必要があります。研修を受けなかった分、知識や技術は村や県、JAからのサポート、そして各種イベントに参加して身につけています。



今後の取組について

スマート農業技術を導入して、かん水や温度管理の自動化を図りたいです。また、鮫川村の若手農業者4人で結成した「さめがわプライド」の活動を通じて、地域の魅力を発信し、次世代につながることのできる持続可能な農業を目指していきます。そして、遊び心を大切に、新しいことに挑戦しながら農業を楽しみたいです。



さめがわプライド
公式ロゴマーク

新規就農者へのアドバイス

就農前に農業研修を受けた方がいいと思います。私は農業について何もわからないまま就農し、その結果、作物が実らない失敗もしてきました。ゼロからのスタートよりも研修を受けるなど、知識や技術を習得した上で就農した方が、安定した農業ができると思います。また、その土地にあった作物や品種を選定することも大事ですね。同じ品種でも気候によって、生育が全く異なるため、周りの農家や県、JAに相談すると良いです。



小松農園



住所：福島県東白川郡
鮫川村大字渡瀬字大戸中245
電話：0247-48-2423
Mail：t.komatsu.m@outlook.jp



Instagram

2021年に脱サラして就農しました。現代のミネラル不足に着目し、ミネラルが豊富な野菜作りを目指し営農しています。減農薬栽培で安心安全を食卓へ届けます。